

		厚生常任委員会	
平成24年9月21日受理		請 第 24 号	
件 名	「難病」という表記を改めることについて国への意見書提出を求める請願		
紹 介 議 員	提 出 者 住 所 氏 名		
村 上 寅 美 鬼 海 洋 一 氷 室 雄 一 郎			
<p>(要 旨)</p> <p>いわゆる「難病」という表記は、(理由) 1に示すように「負のイメージ」があり、患者は様々な社会的不利益を被っているのが現在の状況である。その実情を広く国民全体に周知・理解していただき、患者の社会参加等を推進するために、貴議会として、「難病」という表記の見直しを求める意見書を、国に対し提出されるよう請願する。</p> <p>(理 由)</p> <p>1 「難病」という言葉から連想させるものは、原因不明で治療法のない「不治の病」というイメージであり、様々な疾病や症状がある中で、一律に受けとめられている。このため、就労可能な状態であるにもかかわらず、就労意欲・能力ともにある患者までもがその就労機会を奪われていること。また、就学や結婚、地域生活などにおいても、同様な不利益を被っているのが実態であること。</p> <p>2 「痴呆症」から「認知症」へ、「精神分裂病」から「統合失調症」へと表記が変更されたことにより、社会の偏見や誤解、差別の解消へとつながっていった実績があり、今回請願している「難病」についても、「難治性疾患」等のより適切な表記に改めることにより、同様の効果が期待できること。</p>			